

筑波大学新聞

第301号

編集責任 筑波大学新聞
編集代表 福原直樹
TEL: 029(853)2040-6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

ロンドン五輪

本学関係者ら5人が出場決定

代表候補者の活躍に期待

ロンドンで7月27日から8月12日にかけて開催される第30回オリンピック競技大会の柔道・パドミントン日本代表に本学関係者5人が選出された。出場が決定している選手は以下のとおり。(6月5日現在)

【柔道・男子】▽60kg級・平岡拓晃(了徳寺学園・体育2年)
【パドミントン】▽混合ダブルス・池田信太郎(日本ユニシス・平成15年度体育専)▽48kg級・福見友子(了徳寺学園・平成21年度体育修)

子バレーボールの平井香菜(平成18年度体育専)や陸上競技400mの石塚祐輔(平成21年度同専)らが代表候補となった。五輪に向けて本学関係者の活躍が期待される。

体芸図書館が再開

震災から1年ぶり

昨年3月の東日本大震災で被災し、震災復旧工事で休館していた本学附属体芸図書館が5月21日より

絶滅危惧種 捕獲 キューバソレノドン

本学准教授が調査参加

一時は絶滅したと考えられていた「キューバソレノドン」が5月、キューバと本学など日本の合同研究チームにより同国東部で捕獲された。



捕獲されたキューバソレノドン

今年春ごろから約3週間、キューバ東部のアルハン・デ・ウンボルト国立公園で調査を実施。4匹のオスと3匹のメスを捕獲した。また、昆虫だけではなくカエルやトカゲを好んで食べる

様子を観察され、唾液のサンプルも採取した。研究チームの一人である北村樹准教授(動物系)は、現在唾液に含まれる毒成分の分析を行っている。北村教授は、「なぜソレノドン

のよう原始的な、ほ乳類だけが暮らすようになっただけか、ほ乳類の進化に毒がどのように関わってきたのかという謎も解明したい」と話した。

あるなど本学の国際戦略上、中国は重要な国。だが、中国に設置されていた本学の教育研究拠点(北京事務所)のみで、中国全土を網羅することは困難だった。また中国からの留学生数に比べ、本学から中国への留学生数は21人と少ない。そのため同センターが中国における重要な拠点となり、本学からの留学生を増やすなどして中国との交流を強めていくことが期待される。

今後は本学生の現地でのインターシップの機会提供や柔道・剣道などの体育指導、日本語教育プログラムの構築支援などの活動が予定されている。



5月31日。栗原小学校の5年生らが、泥だらけになりながら初めての田植えに挑戦した。手に持つ小さな緑は、半年後においしいお米に育つ。実りの秋が、今から待ち遠しい。(写真・二宮健太=社会学類)

つくば 歳時記

縁は、すくすびにある。

「チームでじゃっぺ」は、今回の活動の責任者である宮本孝さんは「学生たちが北条地区について詳しく、市役所と連絡を取り合っている。被災地の問題の解決に努めてきた。掲示板には、児童被害に関する説明会の情報のほか、被災者のために市から貰い受けた放置自転車やショッピングカートの希望者を募る記事を掲示した。また、土の袋やゴミ袋などの災害支援物資の配達も行った。

北条地区復興活動 本学生らが壁新聞製作 住民に向け情報発信

5月6日の竜巻で大きな被害を受けた北条地区で、本学の学生団体「筑波山麓地域づくり研究会(通称チームでじゃっぺ)」や「アート&デザインプロデュース(ADP)」のメンバーが、地区の住民とともに「北条街かど新聞」という壁新聞を製作。復興に向けて住民の生活に役立つ情報提供のため、広報活動を行っている。

「チームでじゃっぺ」は、同地区の特産品「北条米スクリュー」を企画したこと

で知られ、同地区の住民とともに街おこしに携わってきた学生団体「ADP」は、本学の芸術系の共通科目で、同地区の古民家を改装し、コンサートホールやギャラリーとして一般に開放、芸術を通して同地区の魅力を紹介してきた。

「チームでじゃっぺ」の代表で新聞製作に携わった田中咲也子さん(経済前期2年)は「今後も学生独自の立場を生かして、被災者の手となり足となり働いていきたい」と抱負を語った。

え、書架の転倒や多数の資料が落下するなど甚大な被害を受けた。昨年5月から臨時窓口で一部図書を出し出すなどの対応をしていたが、昨年12月から臨時休館し、今年3月まで震災復旧工事を行っていた。工事に伴い、体芸図書館にあった資料は学内の倉庫などに移動。雑誌や新聞など一部の資料は中央図書館で閲覧できるようにしていた。4月からは、書架の再設置や机、ロッカーなどの図書館内の備品を元に戻し、図書を書架の元の位置に並べなおす作業を行った。今回の工事により、館内に柱を支える鉄骨補強材や新たな柱が建設された。

館内のカーペットの張り替え作業が開館後の夏季休業期に順延になったり、資料を書架に戻す作業を急いで行ったため書架の図書の順番が完全には整っていないなど、また万全の状態とはいえないが、ほぼ休館前と同じサービスを利用出来る。また、鉄骨補強材と柱の設置により、書架の位置が震災前と変わった箇所もあるといふ。



完成した新聞記事を掲示するメンバーら

金環日食	25年ぶりに国内で観察
アーキヤリーナ	絵画と造形作品の展示
陸上関東シカレ	女子総合で20連覇
柔道全日本選抜	緒方、平岡が優勝
春季スポーツデー	7374人が参加
Good Job	子どもに職業体験
ミニ特集	3
第38回宿舍祭	「祭色」に染まった2日間
特集	6,7
ロンドン五輪	本学から見た五輪

金環日食の朝、外に出ると近所の人が遮光ガラスで空を眺めていた。「見えますか?」と尋ねると「見えますよ」と返される。少しの間立ち話。初対面だったが、今では時折話す仲だ。縁がまた一つ増えた瞬間だった。大学にきて1年。振り返るとたくさんの人と出会った。ともに学び、時には夜中まで騒いだ。バイト先の学習塾では受験に臨む生徒と向き合い、何が出来るか考えた。「あなたがいてくれたよかったです」と言われる。久しぶりに聞いた言葉だった。思えば私も受験生だった。「センター試験まであと〇日」。時間に追われ、日々机に向かって。誰かに頼りたくても頼れない毎日の中、自分だけで生きていくように思えた。いつしか人に頼ることを忘れた。一時には急ぎすぎて見失う事もあるよ。仕方ない。10年前にヒットしたKiroroの「Best Friend」の一節だ。ドラマ「ちゅらさん」のオープニングにもなったこの歌を今になって噛み締める。ドラマでは沖繩の空の下で暮らす温かい住人の姿が描かれる。かたや街を見渡すと、時間に追われ、縁を忘れて日々を生きている人も多い。時には立ち止まって空を見上げてみよう。同じ空の下で「ずっと見守っているから」と微笑む人の事を、きくと思い出せるだろう。あなたの大切な縁は、すくすびにある。

TPECに本学が加入へ 人材育成の面で貢献

産業技術総合研究所(つくば市梅園)は4月27日、「パワーエレクトロニクス」に関する人材育成、共同研究を進めるために、研究共同体「つくばパワーエレクトロニクスコンステレーション(TPEC)」を設立した。

TPECには現在、富士電機やトヨタ自動車など16社が参加。企業が研究資金を出し合うことで、開発リ

スクの軽減などを狙う。本学も今年度中に加入し、人材育成などの面で貢献する予定だ。

今後、人材育成の面では、研究チームを大学院生などから募集し、国内の産業界が関心を示すテーマを選定。本学などの研究者が指導する予定だ。サマースクールやインターンシップを行う計画もあるという。

パワーエレクトロニクスの開発を予定しており、会

起業家教育講座

市・インテルと連携し開催 起業家の心がまえを語る

第一回起業家教育講座が5月26日に春日講堂で行われた。この講座は、年8回の開催を予定しており、会場には約80人が訪れた。

同講座は昨年度に引き続き、本学とつくば市、インテル株式会社との連携事業として開催された。

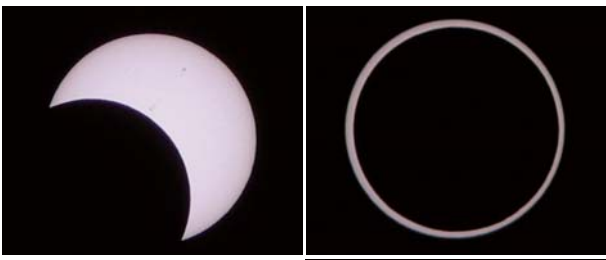
1800人が空見上げる

月が太陽の前を横切ると、太陽が月に隠される金環日食が、5月21日の朝に九州地方から関東地方の広範囲で観察された。日本で金環日食が観測されたのは1987年以来25年ぶり。

金環日食とは、太陽と月、地球が一直線に並んだ際に太陽が月より大きく見えるため、月の周りから太陽がはみ出して見える現象。全国的にこの現象を観察できたのは1080年以來932年ぶりのことで、当日は日本全国がこの天文ショーに注目した。

本学では筑波大学天文研究会が、日食グラスを用いた眼鏡や連続写真の撮影などを行った。天文研究会の朝倉健さん(物理3年)は「当日は天文研究会だけではなく多くの人々が空を眺めていた」と話した。

25年ぶり金環日食 つくばでも観測会 多数開催



左上=月が太陽を隠し始めた様子
右上=最大食時にはリング状の太陽が観測された
右下=月が過ぎ始めた様子
(提供=筑波大学天文研究会)

金環日食とは、太陽と月、地球が一直線に並んだ際に太陽が月より大きく見えるため、月の周りから太陽がはみ出して見える現象。全国的にこの現象を観察できたのは1080年以來932年ぶりのことで、当日は日本全国がこの天文ショーに注目した。

本学では筑波大学天文研究会が、日食グラスを用いた眼鏡や連続写真の撮影などを行った。天文研究会の朝倉健さん(物理3年)は「当日は天文研究会だけではなく多くの人々が空を眺めていた」と話した。

自動車や家庭用電化製品など、幅広い範囲で用いられているシリコンを用いた半導体の分野で韓国や台湾に遅れをとる一方で、日本が依然として高い国際競争力を有している分野だ。

これまでも本学と産総研は、ナノテクノロジー研

究の技術開発、人材育成を目的としてつくばイノベーションアリーナナノテクノロジー拠点(TI-Anaノ)を2009年に設立するなど連携が進められてきた。今回のTPEC設立は、このような連携を基盤にしている。

企業だったインテルが大手企業になった事実を語りながら「現在求められるリーダー像は過去のものに変化している」ことを例に、21世紀型リーダーシップとして「スチュワードシップ」を紹介した。スチュワードシップとは、1社ではなく複数の会社が連携することによりよい結果が得られるという考え。安部副社長は、「リーダーシップは作り出すことができる。これからのリーダーは、カリスマ性よりも『みんなを頑張らせていこう』という姿勢が求められる」と現代社会を勝ち抜く方法を語った。

後半には、食物の細胞を生きのまま冷凍保存するCASシステムを開発した大和副社長が「失敗の積み重ねから成功は生まれる」とベンチャーの飽くなき挑戦」と題して講演。自らがものづくり技術者として失敗しながらも世界に認められていった経験などを紹介。社長自身が貴い町工場のものづくりを大切にしている「職人」の姿勢を強調し、ベンチャー企業がものづくりの現場をけん引する重要性を話した。また、将来の食料危機にも言及し、「優れた技術や人材は国内で大切に、日本の第一次産業を発展させていくことが必要だ」と主張した。

市民対象に公開講演

一般市民を対象に、気象に関する問題などを紹介する公開講演会が、5月26日(つくば市竹園)で行われた。田中教授(生環系)ら日本気象学会の6人が「地球温暖化問題における科学者の社会的役割」というテーマで講演を行った。

同会は、日本気象学会2012年度春季大会に合わせて開催。今回は同教授をはじめとした温暖化問題の専門家を中心に、今後の課題や社会のあり方について議論された。



地球温暖化について語る田中教授

近年、異常気象の原因の増加以外にも、この北極振動や太陽活動などの自然変動も原因の一つであると説明した。

気候モデルを用いた予測では、現在の通説は自然変動と考える温暖化の一部も人為起源として扱われていると解説。メディアで取り上げられている温暖化の将来予測は、過大評価になっていると語った。

講演後にはパネルディスカッションが行われ、今後の気象科学についての熱い議論が交わされた。

同教授は「気象学会の内部でも温暖化論争に対しては両論があるが、温暖化に対して異論を唱え論争する自由な空気が広がってきている。講演会を通して出席者が温暖化を正しく怖がる、ということに納得してもらえた」と話した。

セキユリテイ技術を競う 本学生チームが優勝

「SECOCN」つくば大会の学生情報セキュリティチームの合わせて3チームが参加した。会場では2日間わたって熱戦が繰り広げられ、参加者は出題されたさまざまな問題に取り組んだ。

CTFで優勝したのは、情報科学類の2、3年生で構成されたチーム「ifconfig」。準優勝にも情報科学類の学生のチーム「urandom」が入賞するなど、本学は好成績を収めた。ハッカソンは「ぼくのかんがえたさいきょうの脆弱性」、「正規表現とパワード生成」などをテーマに行われた。

最優秀賞を獲得したの



真剣な表情でパソコンに向かう学生

は、兵庫県立大学の大学院生。「ツクランド」という架空のコンパガチャサイトを基に、ソーシャルゲームを基に、同コンテストは今後も続く。

NHK水戸放送局「ニュースワイド茨城」のニュース番組「ニュースワイド茨城」の生中継が、5月24日の18時10分から19時にかけて、大会会館講堂ホワイエで行われた。

講堂には同番組の司会を担当する2人のアナウンサーが訪れたほか、ゲストとして宿舎祭実行委員会や「つくばマラソン」の講師を務める鍋倉賢治教授(体育系)とその受講生らが招かれた。

番組では同教授のインタビューのほか、「つくばマ

本学から生中継

「SECOCN」つくば大会の学生情報セキュリティチームの合わせて3チームが参加した。会場では2日間わたって熱戦が繰り広げられ、参加者は出題されたさまざまな問題に取り組んだ。

CTFで優勝したのは、情報科学類の2、3年生で構成されたチーム「ifconfig」。準優勝にも情報科学類の学生のチーム「urandom」が入賞するなど、本学は好成績を収めた。ハッカソンは「ぼくのかんがえたさいきょうの脆弱性」、「正規表現とパワード生成」などをテーマに行われた。

最優秀賞を獲得したの

の大学生は「今回は上位に入ることができず、悔しい。次回も参加し、順位を上げたい」と感想を話した。

大会に参加した神奈川県松見池前ペダストリアンデッキで学生が乗った自転車が発車した。学生は自転車のハンドルに荷物を掛けながら運転しており、前輪に荷物が巻き込まれて前に投げ出されたという。同様の事故は15日23時ごろに理科系修士棟前でも発生しており、この学生はハンドルに傘を掛けながら運転して転倒、前輪を折るけがを負った。

学生生活課では「無理に多くの荷物を乗せて自転車を乗ると、荷物が前輪などに巻き込まれて危険。無理のない運転をしてほしい」と注意を呼び掛けた。

第38回宿舍祭

祭色に染まった2日間

● 第38回宿舍祭が5月25-26日に平砂学生宿舎周辺で行われた。前夜祭は25日、本祭は26日。「祭色兼美」をテーマとして2日間を歩いた。(鈴木拓也、中島佳奈)人文学類、望月麗二比較文化学類、原啓一郎、平嶋健人、社会学類、倉沢美紀、国際総合学類、加藤茂行、地球学類、パク・ジョンヒョク、物理学類、小串尚也、情報メディア(創成学類)

前夜祭

5月25日16時から始まった前夜祭は、あいにくの小雨まじりの中でスタート。

野外ライブやミニステージなどの企画が予定通り始まり、演奏者たちは雨に負けない力強い演奏を披露。会場は一時盛り上がった。

しかし、19時ごろから雨が強まり、大雨に。模擬店や企画は中止となった。

模擬店を開いた新入生らは、突然の大雨に慌てふためながら店じまいをした。

前夜祭の終わりを飾る、21時5分からの火文字も中止となり、来場者からは残念がる声があがった。

やどカラ祭

12時40分からメインステージで行われた「やどカラ祭」は、今年から始まった企画。本学生のおもむきで、厳しい予選を勝ち抜いた6人が出場した。出場者はさまざまな曲を歌い、会場を盛り上げた。

新巻さんは、優勝に「どこ(看護1年)は女性シンガーかくうれい」と笑みをこぼした。また、紅一点の出場者となった柿迫優花さん(看護1年)は女性シンガー「MISIAの「Every thing」歌い、会場をわかせた。

本祭 オープニング

5月26日メインステージで行われた本祭オープニングでは、応援部WINSによるパフォーマンスが開会を飾った。実行委員長の及川哲平さん(応理3年)と鈴木久敏副学長(学生担当)ら来賓のあいさつに続いて、吾妻小学校マーチン

グでは、応援部WINSによるパフォーマンスが開会を飾った。実行委員長の及川哲平さん(応理3年)と鈴木久敏副学長(学生担当)ら来賓のあいさつに続いて、吾妻小学校マーチン

優勝したのは、新巻功平さん(地球1年)。男性バンドグループTUBEの「あー夏休み」を歌った

優勝したのは、新巻功平さん(地球1年)。男性バンドグループTUBEの「あー夏休み」を歌った

子ども企画

本学生と触れ合う12時からパフォーマンス会場で行われた子ども企画は、本学生と小学生が触れ合うことが目的。今年度のテーマは「みんなで工作エコーパトル」で、牛やウサギの着ぐるみを着た宿舍祭実行委員が、劇を通して環境の大切さを、ユーモアを交えながら説明した。

また、子どもたちも本学生と一緒に、牛乳パックでフリスビーやビニール袋のおもちゃが飛び出すびっくろ箱、紙飛行機などを作り、交流を楽しんだ。

ダンス

来場者と共に踊る14時30分から、メインステージで「Colorful Dance Fes」が行われた。本学のさまざまなダンス系団体が一堂に集る企画で、筑波大学斬桐舞、体操部、ダンス部、REAL JAMが参加した。

体操部は巨大なゴムボールを路上で見せる「つくば大ダンスを組み合わせ、音楽を通して平砂共用棟前で行われた。アカペラサークルDoo Wopやジャクリン

クルなどがパフォーマンスを路上で見せる「つくば大ダンスを組み合わせ、音楽を通して平砂共用棟前で行われた。アカペラサークルDoo Wopやジャクリン



本学生と共に作成したびっくろ箱で遊ぶ子ども



力強い演舞を披露する斬桐舞

祭一番の盛り上がりを見せる

今年度クラウンに輝いたのは、体育専門学群代表の橋爪咲奈さん(体専1年)。準グランプリには理工学群代表の水無瀬晶さん(工シス1年)、個性派賞は芸術専門学

ゆかたコンテスト

19時過ぎ、火花を散らす恒例企画ゆかたコンテストがメインステージで始まった。今年も例年通り9つの学群が出場。メインステージを取り囲む会場には多くの観客が詰めかけ、パフォーマンスは趣向を凝らした演技を披露した。

群代表の丹治盛さん(芸専1年)が選ばれた。優勝した体育専門学群は、上短距離での五輪出場という橋爪さんは「ダンス経験は無かったが、皆に助けをもらった。優勝は皆のおかげで、優勝の喜びを語った。賞がとれてとてもうれしな気分だ」と笑顔で話した。準グランプリの理工学群



上：笑顔でトロフィーを受け取る橋爪さん 右：準グランプリに輝いた水無瀬さんの演技 左下：コミカルな演技で個性派賞を獲得した丹治さん

御輿

15時、パフォーマンス会場で行われた御輿のパフォーマンスに、今年も学群や委員会から8団体が出場した。御輿は、それぞれの専門分野を分りやすく紹介したことからゲームや漫画の世界を表現したもので、個性的な作品が登場した。各団体の工夫を凝らしたパフォーマンスが披露されると、会場は大いに盛り上がった。

個性豊かな御輿で観客を魅了した。人気漫画「ワンピース」を表現した医学類(医学1年)は、医学類は毎日1限から6限まで授業が入っているが、みんな夜遅くまで作業をしてくれた。優勝できてうれい」と笑みをこぼした。2位の情報学群は、ゲーム「スーパーマリオ」のストーリーに沿ったパフォーマンスを展開した。3位は生物資源学類だった。



人気漫画「ワンピース」を表現した医学類

横浜から会場を訪れた学生の保護者は「手作りの御輿の完成度の高さに驚いた。パフォーマンスもよく考えられており、それぞれのテーマが観客に分りやすく伝えられていたと話した。

反射鏡

パソコンと

親しくなること

高田真吾(社会学一年)

世間がゴールデンウィークで盛り上がりつつある中、私はパソコンと格闘していた。購入したパソコンの初期設定が終わって、それがようやく届き、浮かれていたのも束の間、慣れないパソコンの設定や登録に追われる日々となり、パソコンと過ごすゴールデンウィークとなった。

思い起こせば、筑波大学に入学するまではインターネットで、それが私にとってパソコンデビューの記念日

ネットやゲーム、ワードくらしいが使わなかった。生活する上ではそれらで充分事足りていたからなのだ

が、大学生にもなればそうはいかない。使えるようにならなければならぬこと

は山ほどある。さらに情報革命の真・只中にあるこの

時代、これができるようになったら、これができるとい

ったからもう大丈夫だとい

うことばないだろう。将

来もパソコンと付き合うの

だから、新たに覚えなければ

ならないことがたくさん

出てくる。パソコンが届い

た日、それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日

だ。それが私にとってパ

ソコンデビューの記念日



清水 論

筑波時評

ローマに決定されていた。ところが、1906年にヴェスヴィオス火山が噴火。イタリア政府はナポリの再建を余儀なくされ、大会を返上。急きょロンドンが引き受け

都市開発への期待大 東京への招致を考える

は、1948年。開催の理由は、戦後のヨーロッパにおいて唯一余力があったのがロンドンだったとされる。しかしながら、失業率が高く、食料、衣類などは配給制で、爆撃された建物もそのままの先についていた。観覧車が左右に振られる乗り物まであった。現在で

うしてワードに打ち込むのが精一杯で、エクセルやパワーポイントなどは全然使えないと考えると、長い付き合いになりそうである。しかしこのパソコンという奴、なかなかの強敵だ。まだまだ使い慣れるのには時間がかかりそうだ。

コンプレックス抱いたきつかけ 鈴木拓也(人文一年)

本学に入学して2カ月がたった。高校での何気ない日常が、そしてあのたわいな話話もう思い出になったのだ。その何気ない私の日常で欠かされたのが、月並みだが部活動プロのアナウンサーに私のしゃべりを見て審査してもらった機会があった。初めて

審査員の前に立ち、人がまばらに座る大きいホールの壇上で一人緊張していた。私はその時点でベストを出したと自負していた。そ

1964年東京大会は、戦災復興都市計画が思うように進まず、首都圏整備計画による首都圏事業費約9807.3億円のうち97.3%が関連事業費となった。首都高速道路など道路、公園、上下水道の整備、東海道新幹線や地下鉄さらに東京国際空港の整備のほか、宿泊施設やNHK放送センターなどが整備され

この夏、私たちは3度目のロンドン大会にして初登場の日本選手団をまなざしつつ、首都東京がこの50年で何を失い、何を築いてきたのかを振り返り、オリンピック招致を自論の東京の未来を考えるときにしたい。

改修し、ウェンブリー・スタジアムで開会式が行われた。過去2度のオリンピックがこうした歴史的背景ゆえに、2012年ロンドン大会は、なおさら都市の再開発を大きな目的として展開されてきたのだろう。では、東京はどうか。

今月のテーマ 私だけの記念日



分の寸評が書かれた欄を見た。「風邪ですか。滑舌に難有り」とのコメントに、私は絶対許せざるを得なかった。審査員は一体全体、私のどこを見て風邪と思ったのだろうか。元々が風邪声なのだろうか。そしておみくじのような短評。私のベストパフォーマンスは一蹴されてしまった。

この瞬間から私は、同じように「気持ちすき」と言われた友人とともに墮落への一歩を踏み出した。低い志で目立った功績が残せなかった私にとって、その低い志と、声に対するコンプレックスを抱ききつかけとなったこの日が印象深い、ある意味での記念日なのである。

一人暮らしの達人に成長 天野紗来(人文2年)

記念日、と聞いて、一番初めに思い浮かんだのは自分自身の誕生日、つまり4月22日だった。この日を思い浮かべたのは、今年の誕生日で20歳というのももちろんあるが、私が筑波大生として生活を始めたのがちょうど1年前だったからである。

思えば長く1年も一人暮らしができたものだと思ふ。今こそ自炊がそれなりにできると周りに知られていくと、正直ここに来るまで料理なんてほとんどやったことがなかった。受からと親に言われるがまま

面接に行った某サンドイッチチェーンのバイトにも慣れた。一年一人で暮らしている高い場所。最低限の単位を取って卒業するのにも一つの選択肢だが、いろいろなことに取り組みほろがきつと楽しく、充実した大学生活が送れる。例えば、私のように一人暮らしやバイト、サークル活動をして、やりたいことをやりたいだけや、大学生活はいかがだろう。そしていろいろな節目に今までの自分を鑑みてみるのも、楽しいに違いない。

留学生の目 イメ・アルセ

2008年に素晴らしい日本語の先生のおかげで、コスタリカから日本に初めて来た。2週間しかいなかったのに大変はまってしまった。どうやっても、もう一度行く決心した。日本の旅行ではなく、日常の生活を送りたい。コロンビアに行くと、いつも同じ弁当にいららるようになる。毎朝、納豆を食べる。日本人のように電車で行く。2011年にならなくなった。日本に来る機会があった。日本に来る3年前から期待していた。日

本語を頑張って、日本の文化、歴史などについての本を熱心読んで、日本の映画やドラマを見たり、友達や家族に日本の話で面倒をかかされた。そんなに期待したら、絶対がっかりするよ」とよく言われた。しかし、もう1年以上たったのに、まだがっかりしていない。

日本は何が好きと聞かれたら、やっぱり安全で、きれいで、がっちりしているのが好きだと答える。しかし、それ以上に、日本の人が好きになった。喫茶店に入ると、日本人のようにならる。日本に来る機会があった。日本に来る3年前から期待していた。日

静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にもあった。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけない

とはまだ多い。よく日本人に聞いてみる。なんで笑う人にもあった。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけない

静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にもあった。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけない



落胆と後悔はゼロ

に静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にもあった。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけない

静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にもあった。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけない

静かでシャイい人も、意外にぎやかで、大声で笑う人にもあった。みんな、大好きだ。つくば泉に入ってはいけない

次号のテーマは「私の第2の名前」です

TEL 029-853-9090
e-mail shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

ジャグリングサークル Sheep 第1回春季公演を開催



難易度の高い演技を披露する Sheep のメンバー

多彩な演技で会場を盛り上げる

ジャグリングサークル Sheepの第1回春季公演が5月17日18時30分から大会館ホールで行われた。これまでは学園祭などで公演してきたが、春季公演の開催は今回が初めて。公演ではボールやシガーボックスなどを用いた演技が行われた。シガーボックスの箱を空中に放ち、1回

ついた道具で、両手に持つて回す。布が上下に動いたり、小さくまわすなど、様々な動きで、観客の目を惹きつけた。照明が落ち、演技が終わったと思いきや、暗闇の中で音が輝

アートギャラリー T+

6A棟のアートギャラリーT+(ティータス)では、本学で芸術を専攻する学生、教員による展覧会が開かれている。開館時間であれば誰でも自由に入ることができ、展示される作品は絵画から服飾に至るまで幅広い。(12面に関連写真)

スウィッチで変化 触れて楽しむ

「和田晴奈個展『スウィッチのタップ』」が、5月14-18日に開催された。展示された作品は「小(しょう)さわぎ」と「大(だい)さわぎ」。作品にはスウィッチが付けられており、「小さわぎ」のスイッチを押すと扇風機の風によって、天井から無数に下がったすずらんテープが広がり、奥に置かれた音が鳴る仕組み(「小さわぎの仕組み」)が見え

原 点

大学一年生の冬のことである。ギリシアを訪れていた私は、旅の締めくくりの朝、エーゲ海に突き出すスニオン岬へ向かった。アテナイの支配をめぐって女神アテナに敗れたポセイドンの怒りを鎮めるために民衆が贈ったという神殿の響えていた

エーゲ海を眼下に固く決意 思索の終わらぬ哲学の道へ



津崎 良典 たてた決意を私は強くしたのだった。

ら、しかも自分を超える唯一のものである。『自分を超えたい』ものに身を委ねることから、すべての新しい事態は生れて来る。『フランス哲学研究で名高い森有正が血のこじむ思索の果てに書き付

つぎ・よしのり 人文社会系助教 1977年生まれ。専門はフランス哲学。高等教育論にも関心を寄せる。パリ第一大学パンテオン・ソルボンヌ校博士課程修了。

手紙

株式会社 電通 森田和馬さん

私は平成元年3月に筑波大学を卒業し電通に入社しました。配属先はテレビ局で、気がついたらテレビ局一筋24年目です。ほんごにあつという間でした。そして会社生活の折り返し点を過ぎたせいか、最近では若手社員教育にとても関心があります。若手にはさまざまな体験を積み上げてもらい、年々早まるメディア環境の変化にも揺るがない懐の深さを養って欲しい。そう思います。

私はずっと「今」を伝えるのは、あなた



さまざまな山の絵画を展示した展覧会「ヒマラヤ」

洋画の展覧会 雄大な山脈を描く

上野都代さん(芸専4年)による洋画の展覧会「ヒマラヤ」が5月21-25日に開催された。入口正面の壁に掛けられたのは山々を描いた大きな油絵。降り積もる雪の白と木々の緑とのコントラストが、独特な色彩とタッチで描かれていた。向かいの壁には一枚一枚に山や人の絵と数字が描かれ、カレンダーとしての役割を持った絵画が12点展示された。

も素晴らしい体験でした。出張や旅行で数週間滞在すると、住民票を移して生活拠点を移すのとは同じニューヨーカーも違っています。日本のテレビや雑誌などで見聞きするだけでは全くニューヨーカーを理解できません。大失敗もしましたが、失敗成功に関わらず体験を通じてわかることがたくさんあります。会社で仕事をすること、自分の時間を楽しむことの意味など、日本と違ってくると思います。たまたま上司と部下の関係でいえば、殿様と家来のようなウェットな日本に対して、米国は契約に基づいた関係。日本の上司は殿様なので、いい指示でも、家来は必死に上司の意図をくみ

催事

ひろめき☆ときめきサイエンス

中高生を対象に体験授業を行う「ひろめき☆ときめきサイエンス」が、7月から8月にかけて行われる。開催される講座は以下の3つ。自作の望遠鏡で宇宙を見よう(7月28日(土)開催、申込締切日は6月28日(木))。アトムや遺伝子の情報から作物の誕生、伝播および多様化を学ぶ(7月27日(金)開催、申込締切日は7月20日(金))。「生態系における土壌のはたらきを探ろう!」放射線物質と土壌生態系(8月20日(月)開催、申込締切日は8月7日(火))。

お問い合わせ = <http://www.tsukuba.ac.jp/event/20120601153104.html>

T8-Tsukuba Eight

オムニバス形式の講演会「T8-Tsukuba Eight(ティール・エイト)」が6月16日(土)に大会館ホールで行われる。講演テーマは「vision」。自身の専門分野から20分ずつのショートプレゼンを行う。講演者は一倉宏氏、杉村太蔵氏ら本学関係者8人。

当日は11時開場、12時開演。事前申込制で参加費は無料。参加申込みは<http://goo.gl/Qwv7J>まで。問い合わせ = brast.tsukuba@gmail.com (田中貴大)

新人記者募集

“今”を伝えるのは、あなた



共同研究棟 A104
TEL:029(853)6699

毎週月曜日18時30分

MAIL:shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

五輪の“裏側”を語る

白木仁

トレーナーとして五輪へ

選手として五輪に行く本学関係者がいる一方で、裏方として選手を支える人もいます。白木仁教授(体育系)はその一人。共通体育「ゴルフ」や体育専門学群開講の「テーピングマッサージ」などで教鞭をふるう一方、スピードスケートやシンクロアイスダンスのトレーナーとして、4度五輪に足を運んだ。



特徴的な大きな手を見せる白木教授

「憂しいられない」。同教授が五輪に初めて関わったのは、1994年のリレハンメル五輪。スピードスケートのトレーナーとして派遣され、楠瀬志保の6位入賞に貢献した。続く98年の長野五輪では日本選手団のヘッドトレーナーを務め、清水宏保の金メダル獲得などに貢献した。

裏方として代表に貢献

が沸き上がった。観衆の声援の熱さを感じ、日本人でよかったと思えた。話を。2000年のシドニー五輪、04年のアテネ五輪には、シンクロアイスダンスのトレーナーとして参加。その時にともに選手を指導したのが、84年ロサンゼルス五輪から96年アトランタ五輪にかけて日本代表にメダルをもたらした井村雅代氏。「シンクロには興味はなかったが、井村氏のコーチングと毎大会メダル

シンクロで銅メダル

本間三和子

五輪を勝ち抜いた者だけが手にすることができるメダル。厳しい戦いを終えた選手の胸元に輝くそれは、観戦者にとっては、彼らの「最終目標」のように見える。だが、選手にとっては、メダルとはどんな意味を持つのだろうか。1984年のロサンゼルス五輪で、シンクロアイスダンスのデュエット、ソロで銅メダルを勝ち取った本間三和子教授(体育系)に聞いた。



メダルの思い出を語る本間教授

「メダルは人生の過程で偶然手に入れたもの。代名詞でも肩書きでもない」。そう語る教授は、メダル獲得よりも、試合が終わって

メダルは人生の礎

「メダルは人生の過程で偶然手に入れたもの。代名詞でも肩書きでもない」。そう語る教授は、メダル獲得よりも、試合が終わって

世界主要紙の会議に参加

本紙編集代表がモスクワ訪問

ロシアの有力紙「ロシア新聞」が、提携している世界主要紙を集めた「パナー会議」が5月、モスクワで開かれ、そこに出席する機会を得た。同紙はワシントンポスト、ニューヨークタイムズ(米)、フィカロ(仏)、毎日新聞など17カ国の主要紙と提携、ロシアの今を伝える別冊「ロシアNOW」を発刊している。会議ではこれら提携紙が新聞の将来を見据えた販売戦略などを議論。新聞研究上、有意義な体験となった。(筑波大学新聞編集代表・教授、福原直樹)

新聞の未来を論議



会議と並行して行われた編集者向けセミナーの様子

筑波自然鑑



撮影地=宝蔵山

サラサヤンマは人をおそれぬトンボを私は知らない。私がよくそばにいるのにも気づかず目を輝かせ、小枝や木の幹、時にはカマラのレンズに止まって翅を休めつつパトロールする姿は見ていて飽きない。この人懐っこさを十分に味わうためには泥だらけになる勇氣と汚れを気にしない服装を必要とするのが唯一の難点である。(写真・文 武藤将道、生物2年、野生動物研究会)

第91回 関東学生陸上競技対校選手権大会

女子が20年連続総合優勝

男子は惜しくも総合3位 真下、大崎が大会新

陸上

第91回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)が5月12-20日に国立競技場(東京都新宿区)で行われた。女子は20年連続22回目の総合優勝の快挙を成し遂げた。男子は惜しくも総合第3位だった。大学院生による男子3部と女子2部では、男女ともに優勝。

女子は、8000mの真下まなみ(体専3年)が2分4秒57、ハンマー投げの大崎かな(同2年)が53.91の大会新記録で優勝。また、三段跳びの前田和香(同4年)と円盤投げの目下望美(同)も優勝を果たした。トラック競技の得点では中央大学に次ぐ2位だったが、「お家芸」のフィールド



110メートルハードルで連覇を果たした大室 (提供= TSA)

ド競技では他大学を圧倒する93点を獲得。総合では、2位の中央大学の133.3点を大きく引き離し、175.5点を獲得し、対校得点では、トラック競技で11位と遅れを

とったものの、フィールドで競技で大量得点をあげ、総合では3位に躍進した。大学院の選手が競う3部では、3000m障害で丹治史弥(体専1年)が8分56秒84、円盤投げの小野真弘(同)が51.16で大会新記録を樹立した。大山圭悟副部長(体育系・講師)は「女子の20連覇に敬意を表したい。男子も勢いがある。日本インカレでは男女アベック優勝をねらいたい」と話した。本学関係者の結果は以下の通り。女子▽1000m立山紀恵(同4年) 2分12秒4▽8000m真下まなみ(同2年) 2分4秒57▽大会新記録▽1500m公本有紀菜(同2年) 3分42秒60▽5000m久馬萌(同1年) 16分7秒63▽1000m相馬絵里子(同3年) 2分13秒58▽走り高跳び・金井瞳(同) 2位(1.73)▽棒高跳び・有川星女(同4年) 2位(706.4cm)

競泳ジャパンオープン 西山、諸貫が表彰台に インカレ出場に期待

水泳

競泳のジャパンオープン(2012年5月24-27日)に於いて東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)で行われた。本学からは27名の選手が出場した。400m自由形では西山賢太郎(体専3年)が予選で更新した自己最高記録をさらし1秒近く短縮した。

分53秒13で3位、1000メートル背泳ぎで諸貫瑛美(同2年)が1分2秒10で3位になり、表彰台に上がった。また、諸貫は50m背泳ぎでも29秒10で4位となり、今後の躍進が期待される。そのほか、50m平泳ぎで小林明日香(同)が7位に入賞した。本学勢の多くが準決勝まで進み、9月に行われる日

男子健闘するも準優勝 女子は第6位

バレー

春季関東大学バレーボールリーグ戦

春季関東大学バレーボールリーグ戦が4月14日から5月20日にかけて早稲田大学芦山キャンパス記念会堂(東京都新宿区)などで開催された。男子は6勝3敗で2位、女子は4勝5敗で6位という結果で全日程を終えた。

男子は5戦目まで4勝1敗で1位をキープしていたものの、6戦目の東海大戦では序盤から相手にリードを許し、その後も普段のプレーができずにストレートで敗れた。7戦目の順天堂大戦では第1セットを先取するが、第2セットを落とす。続く第3セットを25-23で奪取するも、第4、第5セットを相手に奪われセットカウント2-3で惜しくも敗れた。しかし8戦目の国際武道大戦、9戦目の国士舘大戦ではともに3-1で勝利し、最終結果は6勝3敗で第2位となった。秋山史監督(体育系・助教)は「3年の主力選手を中心に、途中から試合に出た選手も活躍した。しかし主力選手に頼りすぎている部分があるため、他の選手が攻撃と守備の両面で力を強化していくことが今後の課題」と話す。

5戦全勝で男子優勝 1部リーグへ昇格も

バドミントン

関東大学バドミントン春季リーグ戦が4月21日から5月3日にかけて日本体育大学健志台キャンパス本記念体育館(横浜市青葉区)で開催された。1部リーグに所属する女子は1勝4敗で5位、2部リーグに所属する男子は5勝0敗で優勝という成績を取った。女子は初戦の日本体育大に2-3で敗れ、4戦目までなかなか調子が出ず黒星が続く。だが5戦目の青山学院大に3-1で勝利し、5位という結果に終わった。

東日本学生体操競技選手権大会 男女ともに入賞 夏の大会に課題残す

体操

第45回東日本学生体操競技選手権大会が、5月20日に仙台市体育館(仙台市太白区)で行われた。本学からも多くの選手が出場し、団体総合で女子が3位に、男子が6位に入賞した。また、個人部門においても多くの選手が入賞した。

男子団体の部では、前半の試合で他校がミスをする中で安定した演技を重ねた。だが鉄棒とあん馬でミスをし、6位に終わった。女子団体は安定した演技を保ち3位に入賞したものの、夏の全日本インカレに向けて大きな課題を残す結果となった。団体男子主将の遠藤正紘(体専4年)は「夏の全日本インカレでメダルを取ることを目標としていた。今回の試合では上位入賞を狙っていただけに悔しい。この夏に向けて練習を



平均台で美しい演技を見せる菅野 (提供=体操部)

跳馬2位、段違い平行棒8位、平均台2位、ゆか5位▽菅野恵(同3位)個人総合4年 14位(12面に関連5位、段違い平行棒6写真)

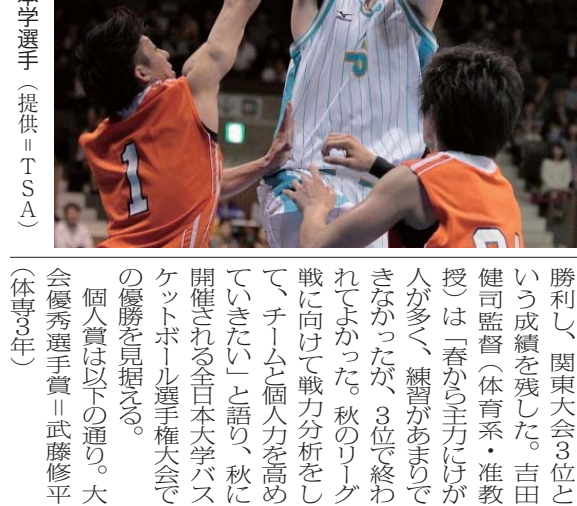
関東バスケットボール大会

男子が拓殖大に勝ち3位 武藤が大会優秀選手に

バスケット

第61回関東大学バスケットボール選手権大会が、5月3-13日にかけて国立代々木競技場第二体育館(東京都渋谷区)で行われた。本学は3位決定戦で拓殖大に勝利し、去年から順位を上げ、3位となった。

初戦の関東学園大には120-59で完勝。2回戦の慶應義塾大には速攻とインサイドでのシュートが効果的に決まり、94-79で快勝した。続く準決勝では大東文化大と対戦。前半は本学が優位に試合を進めたが、後半で大東文化大の個人技に試合の主導権を奪われる。第4ピリオドで大東文化大が3Pシュートを決め本学に迫り、試合は延長戦へと入った。延長戦



では本学が3Pシュートやスティールで勢いに乗り、87-78で勝利を収めた。しかし準決勝では圧倒的な体格を誇る青山学院大にインサイドを崩され、68-99で敗北。3位決定戦では拓殖大と対決した。序盤は接戦となるが、第3ピリオドに3Pシュートなどで大量得点を挙げて試合の流れを引き寄せ、112-90で勝利し、関東大会3位という成績を残した。吉田健司監督(体育系・准教授)は「春から主力にけが人が多く、練習があまりできなかったが、3位で終わってよかった。秋のリーグ戦に向けて戦力分析をして、チームと個人力を高めたい」と語り、秋に開催される全日本バスケットボール選手権大会での優勝を見据える。個人賞は以下の通り。大会優秀選手賞 武藤修平(体専3年)

男子は初戦から順調に勝ち進み、全勝して優勝を果たした。この結果5月5日の入れ替え戦に出場し、3-2で中央大に勝利して1部への昇格が決定した。吹田真十郎監督(体育系・助教)は「男子は今大会1部に所属し、優勝という結果に終わった。だが、秋のインカレに向けて準備は進んでいるので、これからも自信を持って練習に励んでほしい」と話した。

全日本選抜柔道体重別選手権大会 緒方、平岡が優勝

遠藤が3位入賞を果たす

柔道

決勝戦では池田ひとみ(自衛隊体育学校)と対戦。両者技を掛け合うも、なかなか決まらない。残り1分、相手を制した緒方は大内刈りを掛ける。だが池田も支釣込足で切り返す。緒方はこれに耐え、もう一度大内刈りを掛け、技あり。優勝を果たした。

増地克之監督(体育系・講師)は「緒方はひびきをけがしており万全ではなかったが、けがの中でも代表権を得たのは、精神的にも強くなった結果。この階級で第一人者というのを実感した。五輪では皆ベストコンディションで望むことが第一」と語った。

世界ランク3位につける平岡。若手同ランク2位の山本浩史(総合警備保障)も出場し、五輪代表に選ばれるためには、この大会で優勝する必要がある。山本が2回戦で敗れる中、平岡は決勝に進んだ。相手は山本を下し勝ち進んだ志々目徹(日本体育大)。試合は平岡が積極的な技を任せ、相手に指導2つが与えられ、有効勝。

平岡は「山本と決勝で当たることを予想していたが、相手は誰であろうと、意識はしていなかった。着実にトレーニングを積み、試合に合わせて体をつくることができた」と話した。

柔道グラウンドスラム
西山雄希が優勝
柔道グラウンドスラム・モスク大会が5月26・27日に開催された。本学からは73歳級に西山雄希(体専3年)が出場し、優勝した。決勝の相手は昨年の世界選手権3位のジュロコロフ(ウズベキスタン)。開始直後から双方とも技が繰り出せず、互いに一つずつ指導が与えられる。その後足技を出そうと互いに相手の足元をうかがうなか、西山は有利に相手を進め、その後さらに相手に与えられた二つの指導により技あり奪った西山が勝利。国際

舞台で初の優勝を挙げた。増地監督は「国際大会で優勝できたのは大きい。強か今後の課題」と話した。

首都大学野球春季リーグ戦
後半巻き返し5位に
土浦市営球場(土浦市)で行われていた首都大学野球春季リーグ戦が、5月27日に終了。5勝7敗で5位に終わった。

前半の不調が響き、最下位に沈んでいた本学。日本大戦から巻き返しを図った。第1回戦で宮城陽介(体専3年)が2失点完投。打線も援護し、4-2で勝利した。第2回戦も先発の坂部春(同4年)が好投。日体大打線を無失点に抑えた。打線もスタイクを図るなどし、3得点。最後は宮谷が救援し、今季初の勝ち点を挙げた。

続く大東大戦。第1回戦は8回まで互いに無得点。しかし9回表に、代打の松浦昌平(同3年)が安打を放つと、2連続で犠打を決め、2死3塁のチャンス。

この場面でも林竜希(同4年)が適時打を放ち、1-0のサヨナラ勝ち。翌日の第2回戦は1-3で敗戦。勝ち点の行方は第3回戦に持ち越された。

第3回戦では宮谷が先発。4回表に2死満塁のピンチを招くも、相手打者を打ち取り無失点。宮谷はこの後も得点を許さず、12奪三振完封の好投。この好投に打線も応え、3得点を挙げた。3-0で勝利し、日本大戦に続いて勝ち点を挙げた。

この場面でも林竜希(同4年)が適時打を放ち、1-0のサヨナラ勝ち。翌日の第2回戦は1-3で敗戦。勝ち点の行方は第3回戦に持ち越された。

第3回戦では宮谷が先発。4回表に2死満塁のピンチを招くも、相手打者を打ち取り無失点。宮谷はこの後も得点を許さず、12奪三振完封の好投。この好投に打線も応え、3得点を挙げた。3-0で勝利し、日本大戦に続いて勝ち点を挙げた。

勢からのスタート。しかし、そこから粘り7-5で勝利。この勝利で勢いつき行く。そんなテニスで何度も相手を退けてきた。



猛攻する本学選手

個人賞は以下の通り。最優秀選手賞 川俣ゆかり(体専4年)、優秀選手賞 網谷涼子(同3年)、安倍千夏(同)、平川愛里(同4年)

関東学生剣道選手権大会 2人がベスト8入り

剣道

第58回関東学生剣道選手権大会が5月18日、日本武道館(東京都千代田区)で行われ、本学からは竹ノ内行也(体専1年)と佐伯太郎(同4年)の2人がベスト8入りを果たした。

注目されたのは1年生の竹ノ内。準決勝では延長戦で小手を奪われたが、得意の面で会場をわかせた。また、佐伯太郎(同4年)も同じく準決勝の延長戦で面を奪われたが、堂々のベスト8入りを果たした。

今回の試合について竹ノ内は「初めての試合だったのでもう一度やることを心掛けて、今後は一つでも順位を上げられるよう努力したい」と語った。

竹ノ内、佐伯は7月に行われる全日本学生剣道選手権大会に代表として出場する。

高鍋は男子個人で、佐久間は女子個人で優勝を飾った。また高鍋は男子団体の大将、佐久間は女子団体の副将も務め優勝している。今大会ではすべての部門で日本が優勝しており、完全優勝を果たす形となった。

女子シングルス
菅村が優勝
平成24年度関東学生テニス選手権大会が、5月26・27日に東京有明テニスコート(東京都目黒区)で行われ、本学男子ソフトテニス部が3部昇格を賭けて国士館大学との試合に臨んだ。

入れ替え戦では時本泰地(化学3年)・高原大輝(数学3年)ペアが1-5で敗れたものの、続く小倉詳悟(国総4年)・原田圭輔(体専3年)ペア、吉元翔汰(社工3年)・根岸俊之(工シ3年)・石原隆佑(数学2年)が3連勝。3-1で国士館大を破り、本学は3部に昇格した。

あこがれて。彼女も後を追うように同校に入学した。待ち受けていたのは、厳しい練習と勉強の両立の日々。寮生活では先輩と後輩の上下関係にも悩み、何度もテニスをやめようと考えた。だが、「中途半端では終わらせたくない」。そんな気持ちも彼女を突き動かした。3年生のときに出場したインターハイでは団体ベスト4、個人戦でも3位に入った。「精神面での強さは高校時代に鍛えられた。おかげで今は大事な場面でも緊張はしない」と話す。

大学では高校時代に比べ、先輩後輩関係も厳しくなく練習量も多くなっている。そんな中、このようにテニスへの思い。このように武器に、菅村選手は今日も「夢」に向かって突き進む。(加藤茂行II地球学類)

勢からのスタート。しかし、そこから粘り7-5で勝利。この勝利で勢いつき行く。そんなテニスで何度も相手を退けてきた。

特に印象に残るのは、昨年8月の関東学生テニス選手権大会(夏開)。成り上がったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

ミスが目立ち、落ちてしまふ。迎えた第3セットは3-3のシーソーゲーム。だが、そこから3ゲーム連取し、6-3で勝利した。守りに入らなかつたことが大きい。自分でも勝つとは思わなかつた」と菅村。終始積極的なテニスを貫いた。

春開以外にも、入学以来同大の選手と何度も熱闘を演じてきた。普段はおっとりとした話し方の変が起きた。本学のホープ、菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

圧巻だったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは



ホームを踏む本学選手 (提供= TSA)

顔

関東学生テニス選手権大会(春開)。成り上がったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

メンタルの強さで勝負

メンタル

勢からのスタート。しかし、そこから粘り7-5で勝利。この勝利で勢いつき行く。そんなテニスで何度も相手を退けてきた。

特に印象に残るのは、昨年8月の関東学生テニス選手権大会(夏開)。成り上がったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

ミスが目立ち、落ちてしまふ。迎えた第3セットは3-3のシーソーゲーム。だが、そこから3ゲーム連取し、6-3で勝利した。守りに入らなかつたことが大きい。自分でも勝つとは思わなかつた」と菅村。終始積極的なテニスを貫いた。

春開以外にも、入学以来同大の選手と何度も熱闘を演じてきた。普段はおっとりとした話し方の変が起きた。本学のホープ、菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

圧巻だったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

勢からのスタート。しかし、そこから粘り7-5で勝利。この勝利で勢いつき行く。そんなテニスで何度も相手を退けてきた。

特に印象に残るのは、昨年8月の関東学生テニス選手権大会(夏開)。成り上がったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

ミスが目立ち、落ちてしまふ。迎えた第3セットは3-3のシーソーゲーム。だが、そこから3ゲーム連取し、6-3で勝利した。守りに入らなかつたことが大きい。自分でも勝つとは思わなかつた」と菅村。終始積極的なテニスを貫いた。

春開以外にも、入学以来同大の選手と何度も熱闘を演じてきた。普段はおっとりとした話し方の変が起きた。本学のホープ、菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

圧巻だったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

勢からのスタート。しかし、そこから粘り7-5で勝利。この勝利で勢いつき行く。そんなテニスで何度も相手を退けてきた。

特に印象に残るのは、昨年8月の関東学生テニス選手権大会(夏開)。成り上がったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

ミスが目立ち、落ちてしまふ。迎えた第3セットは3-3のシーソーゲーム。だが、そこから3ゲーム連取し、6-3で勝利した。守りに入らなかつたことが大きい。自分でも勝つとは思わなかつた」と菅村。終始積極的なテニスを貫いた。

春開以外にも、入学以来同大の選手と何度も熱闘を演じてきた。普段はおっとりとした話し方の変が起きた。本学のホープ、菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

インカレ出場を決めた本学のホープ 菅村恵里香(体専2年)

インカレ

勢からのスタート。しかし、そこから粘り7-5で勝利。この勝利で勢いつき行く。そんなテニスで何度も相手を退けてきた。

特に印象に残るのは、昨年8月の関東学生テニス選手権大会(夏開)。成り上がったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

ミスが目立ち、落ちてしまふ。迎えた第3セットは3-3のシーソーゲーム。だが、そこから3ゲーム連取し、6-3で勝利した。守りに入らなかつたことが大きい。自分でも勝つとは思わなかつた」と菅村。終始積極的なテニスを貫いた。

春開以外にも、入学以来同大の選手と何度も熱闘を演じてきた。普段はおっとりとした話し方の変が起きた。本学のホープ、菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

圧巻だったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

勢からのスタート。しかし、そこから粘り7-5で勝利。この勝利で勢いつき行く。そんなテニスで何度も相手を退けてきた。

特に印象に残るのは、昨年8月の関東学生テニス選手権大会(夏開)。成り上がったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

ミスが目立ち、落ちてしまふ。迎えた第3セットは3-3のシーソーゲーム。だが、そこから3ゲーム連取し、6-3で勝利した。守りに入らなかつたことが大きい。自分でも勝つとは思わなかつた」と菅村。終始積極的なテニスを貫いた。

春開以外にも、入学以来同大の選手と何度も熱闘を演じてきた。普段はおっとりとした話し方の変が起きた。本学のホープ、菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。

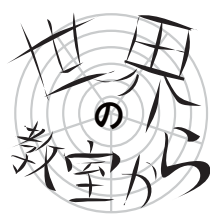
圧巻だったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

勢からのスタート。しかし、そこから粘り7-5で勝利。この勝利で勢いつき行く。そんなテニスで何度も相手を退けてきた。

特に印象に残るのは、昨年8月の関東学生テニス選手権大会(夏開)。成り上がったのは準決勝だった。相手は第1シードで優勝候補筆頭の大竹志歩(巨大)。「自分が攻めて、思い切りテニスをした」。序盤から相手のバックハンドを果敢に攻める。第1セットを先取する。だが、第2セットは

ミスが目立ち、落ちてしまふ。迎えた第3セットは3-3のシーソーゲーム。だが、そこから3ゲーム連取し、6-3で勝利した。守りに入らなかつたことが大きい。自分でも勝つとは思わなかつた」と菅村。終始積極的なテニスを貫いた。

春開以外にも、入学以来同大の選手と何度も熱闘を演じてきた。普段はおっとりとした話し方の変が起きた。本学のホープ、菅村恵里香(体専2年)が準決勝、決勝と同大の選手を破り、優勝の栄冠を飾ったのだ。



オークランド大学 (ニュージーランド)

佐々木さゆり

3月11日。私は初めて異国の地を踏み入れました。訪れたのは日本から約9000km、南半球に位置するニュージーランドのオークランドでした。私の訪れた3月は秋の始まりで、日本と正反対の季節でしたが、滞在中ほとんど暖かく、日本との気温差に驚くほどでした。

滞在中の4週間、私はオークランドの一般家庭にホームステイをしました。ホストファミリー

リーは留学生を受け入れるのに慣れているようで、英語を親切に、ゆっくりと話してくれました。特にホストシスターの10歳の女の子は家では私の英語の先生でした。

家では彼女に英語を教える代わりに、平日の日中はオークランド大学付属の語学学校「イングリッシュランゲージアカデミー」に通い英語を習っていました。授業は終始英語で行われるため、初めは先生がどのような答えを求めているのか理解できないなど、戸惑うことも多々ありました。学校には日本はもちろんです、中国や韓国、サウジアラビアなどさまざまな国から生徒が来ています。彼らのコミュニケーション

ケーションでの共通の言語はやはり英語しか無かったのだ、伝えたいことを伝える良い練習になったと思います。

留学中で印象深かった出来事はたくさんありますが、その中の一つにホストファミリーの結婚があります。式をあげたのはホストマザーとホストファザー。私が訪れてから1週間後の3月19日、行われた式に私は授業で出席できず、その日の日曜日に開かれたウェディングパーティーには出席できませんでした。パーティーは私たちが住んでいる家で開かれました。そのため準備は2、3日前からされ、私もお菓子作りや料理などの手伝いをしました。

驚いたのは、なにもかもが手作りでいうところ、ウェディングケーキもホストマザーの友人の手作りでした。パーティーには多くの人が訪れ、彼らは皆親切で見守る私に優しく話かけてくれました。その日、私は英語で話すことの楽しさと、伝えたいことがスラスラとくまなく伝えられない悔しさを感じました。

そのことは、私の中の英語を学ぶ意識を今まで以上に変えた気がします。



ニュージーランドの仲間と(右端が佐々木さん)

異国の地で「親切」にふれる

第36回春季スポーツ・デー

7374人がスポーツを楽しむ 新企画チャンバラ合戦も

第36回春季スポーツ・デーが5月19-20日に、学内18カ所を会場として開催された。スポーツ・デーは学生や教職員が参加し、さまざまなスポーツを楽しむ行事で、春と秋にそれぞれ2日間行われている。今回は7374人が参加し、学内の施設は参加者でぎわった。

事前申込みをした団体が参加する正式種目はバスケットボールやドッジボール、オリエンテーリングなど8種目。体育会所属団体によるサークル企画では体操部の体験教室や弓道部の

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

スポーツ・デー学生委員長の石井康平さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。



4対4で行った学生委員会企画のミニバスケット

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。

「思ったように当てるのが難しかったが、普段はなかなかできない競技を楽しめた。3位になったチーム「ペナツ」の今村真紀子さん(社会学2年)は「両日とも天気恵まれました。3位になることができてうれしかった」と感想を語った。



身近な疑問をきっかけに、本学の成り立ちについて考え直す「なぜなに?」は、第2回となる今回は、研究学園都市を断片し、本学の交通の軸となつてペダストリアン・デッキの謎に迫る。なぜ2階から入る建物が多いのか、どうして歩行者専用道の名を冠したペダに自転車走っているのか。誰もが疑問に思いつつ、いつしか慣れてしまつたこれらの疑問を、設計した人物に尋ねた。

ペデの由来を探る

土肥名誉教授は、つくば市の計画以前に関わっていた「高蔵寺ニュータウン計画」(愛知県春日井市)で、歩車分離の必要性を実感。筑波研究学園都市にペデを掘ることは、最初から念頭にあった。

「ペデに自転車?」とここで「ペダストリアン」は歩行者の意味。法律では車両扱いの自転車だが、なぜペデを走っているのだろうか。土肥名誉教授は「自転車は歩行者の計画以前に関わっていた「高蔵寺ニュータウン計画」(愛知県春日井市)で、歩車分離の必要性を実感。筑波研究学園都市にペデを掘ることは、最初から念頭にあった。」



建物の2階に出入口があるペデの様子(第一エリアで)



土肥博至名誉教授

「ペデを歩かせるのは、世界的にも進まなかった。例えば中央図書館前には「石の広場」。ここは設計当初、関係者の一部から「学生運動の集会に利用され(学内紛争に発展)する恐れがある」と考え、ペデを走らせると考へていたと話した。

「ペデを歩かせるのは、世界的にも進まなかった。例えば中央図書館前には「石の広場」。ここは設計当初、関係者の一部から「学生運動の集会に利用され(学内紛争に発展)する恐れがある」と考え、ペデを走らせると考へていたと話した。」

就活の基礎知識を学ぶ 内定者との座談会も

本学の就活生を支援する「スケジュール」を紹介。内定者による団体「TAK E@WAY」が、5月30日に就職活動の概要を説明する「筑波的!就活のキホン講座」を3A棟202で行った。会場には就職活動を始め約200人が集まり、中には立ち見の学生もいた。

「スケジュール」を紹介。内定者による団体「TAK E@WAY」が、5月30日に就職活動の概要を説明する「筑波的!就活のキホン講座」を3A棟202で行った。会場には就職活動を始め約200人が集まり、中には立ち見の学生もいた。

「スケジュール」を紹介。内定者による団体「TAK E@WAY」が、5月30日に就職活動の概要を説明する「筑波的!就活のキホン講座」を3A棟202で行った。会場には就職活動を始め約200人が集まり、中には立ち見の学生もいた。

「スケジュール」を紹介。内定者による団体「TAK E@WAY」が、5月30日に就職活動の概要を説明する「筑波的!就活のキホン講座」を3A棟202で行った。会場には就職活動を始め約200人が集まり、中には立ち見の学生もいた。

「スケジュール」を紹介。内定者による団体「TAK E@WAY」が、5月30日に就職活動の概要を説明する「筑波的!就活のキホン講座」を3A棟202で行った。会場には就職活動を始め約200人が集まり、中には立ち見の学生もいた。

「スケジュール」を紹介。内定者による団体「TAK E@WAY」が、5月30日に就職活動の概要を説明する「筑波的!就活のキホン講座」を3A棟202で行った。会場には就職活動を始め約200人が集まり、中には立ち見の学生もいた。



内定者の講座を聞きに多くの学生が集まった会場

本学構内で開催 第33回オリエンテーリング大会

オリエンテーリング愛好会が企画・運営する、第33回筑波大学オリエンテーリング大会が9月30日(日)に行われる。開催地は本学キャンパス内。3月からキャンパスの使用に関して学生生活課と交渉が行われ、6月4日に最終決定された。

「オリエンテーリングはコンパスと地図を手にチェックポイントを通過しながらゴールを目指し、タイムを競うスポーツ。地図を読み込み、最適なルートを見つけていくことが勝敗を左右する。大会は、英城県内を中心に関東各地から開催地を選出して、行われてきたが、本学キャンパス内での開催は初めて。」

「オリエンテーリングはコンパスと地図を手にチェックポイントを通過しながらゴールを目指し、タイムを競うスポーツ。地図を読み込み、最適なルートを見つけていくことが勝敗を左右する。大会は、英城県内を中心に関東各地から開催地を選出して、行われてきたが、本学キャンパス内での開催は初めて。」

「オリエンテーリングはコンパスと地図を手にチェックポイントを通過しながらゴールを目指し、タイムを競うスポーツ。地図を読み込み、最適なルートを見つけていくことが勝敗を左右する。大会は、英城県内を中心に関東各地から開催地を選出して、行われてきたが、本学キャンパス内での開催は初めて。」

GoodJob2012~夢の職業体験場~ 子どもたちに仕事の楽しさ伝える



郵便局員の仕事を体験する子どもたち

本学生が主体となり運営

子どもに職業体験の場を「提供する」GoodJob 2012「夢の職業体験場」が、5月12-13日に開催された「つくばフェスティバル」の企画の一環としてつくばセンターで行われた。当日は約2500人の子どもが訪れ、思い思いの子どもたちが疑似通貨

「ジョブシヨブ」を入手し、駄菓子を購入したり、ゲームを楽しむことができる。中でも人気を集まったのは、THK筑波放送協会が出品する「つくばへっぴょぶテレビ」。アナウンサーになりきり、カメラに向けて原稿などを読み上げた。同イベントの今年のテーマは、「楽しい」オト量産計画。将来仕事を楽しくみることができる子どもが増えるように、という思いから同イベントは生まれた。

代表の山下奈菜子さん(社会学3年)は「昨年よりも来場者が1000人も増えて驚いた。最初は運営する人の人数が足りないことにもあったが、たくさんの子どもたちに楽しんでもらえよかったです」と感想を語った。(12面に関連写真)

リレー・フォー・ライフ2012 in 茨城

がんとの戦いを応援 約700人が会場を歩く

がん患者支援のチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ 2012 in 茨城」がつくば市研究

参加者はリレー方式でコースを歩き、寄付を募った。夜にはコースの沿道にルミナリエが置かれLED電球で点灯。ルミナリエにはメッセージが書かれ、幻想的な雰囲気が漂った。同実行委員会委員長の宮本恭子さんは「このイベントはたくさんの方のボランティアの力で開催される。がんに関わりたくない学生も参加してほしい」と語った。

参加者はリレー方式でコースを歩き、寄付を募った。夜にはコースの沿道にルミナリエが置かれLED電球で点灯。ルミナリエにはメッセージが書かれ、幻想的な雰囲気が漂った。同実行委員会委員長の宮本恭子さんは「このイベントはたくさんの方のボランティアの力で開催される。がんに関わりたくない学生も参加してほしい」と語った。

三津石さんは「一人ひとりの活動は小さくても多くの人が参加すれば大きな事を成し遂げることが出来る。多くの学生や教職員の皆さんに3分間のボランティアに参加してもらえればうれしい」と語った。なお、プロジェクト協力者も随時受け付けている。連絡先は以下の通り。メールアドレス: crowd4u@gmail.com

WAF2012報告会

アートを通じて国際支援 凧上げのワークショップも

芸術を通じた、持続可能な国際支援を目的とする団体、Wall Art Projectの活動報告会「Wall Art Festival (WAF) 2012報告会」が3A棟202で5月18日に開催された。WAFは今年2月に、イ

て、国内外でアートイベントの企画などを行うアーティスト、遠藤一朗さんによる凧上げのワークショップ「未来龍大空凧」が虹の広場で行われた。未来龍大空凧は、小さな凧を一列に50メートルほどつなげたもので、一つひとつの凧に個人の「夢」が書かれている。

参加者らは賑やかなダンスパフォーマンスも披露された。報告会の主催者(一人、町田紗記さん(芸専3年))は「臨場感のある報告会になるよう工夫した。自分も昨年報告会で話を聞いて、WAFに参加したが、凧に書いたように、人に伝えることで自分が種になって活動を広める手伝い」ができた」と話した。

夕暮れの薄闇の中、肉の焼ける匂いが広がる。うちわをおおぐたびに火の粉が舞い、それと共に笑い声も飛び交う。パーベキューをしているのは、野外活動クラブだ。

同団体は名前の通り、キャンプやスノーボードなど「野外」で活動をする団体。約10日間の「長期キャンプ」や地域の小学生と行う「子供村サマーキャンプ」などが毎年行われる。それだけでなく、サイクリングや登山など各自が考えた企画も実施する。

団体のメインイベントは長期キャンプ。毎年夏休み約10日間、目的地に向かって旅行する。1日8時間電車に乗ることもあるし、何もない駅でも2時間さまよい歩いたことも。その場でやりくりする感覚が楽しいそうだ。10日間同じメンバーと行動するため、より一層仲が深まる。

団体の魅力は学年、男女を超えて仲が良く、メンバーの学類も多岐にわたるため、横のつながりも広いこと。「上級生と下級生の仲が良く、引退したOB・OGも参加しやすい雰囲気」が、このため現役以外の参加も多い。「りきこ」や「シヨン」などニックネームで親しげに呼び合う、誕生日も祝い合う。

「人生の夏休み」とも言われる大学時代。団体は学年、学類を超えた仲間と、「夏休み」を全力で謳歌している。勉強だけでなく、学生ならではの大きな本気で取り組む。そこに参加してみたい。島佳奈(人文学類)



野外活動クラブ

夕暮れの薄闇の中、肉の焼ける匂いが広がる。うちわをおおぐたびに火の粉が舞い、それと共に笑い声も飛び交う。パーベキューをしているのは、野外活動クラブだ。

団体のメインイベントは長期キャンプ。毎年夏休み約10日間、目的地に向かって旅行する。1日8時間電車に乗ることもあるし、何もない駅でも2時間さまよい歩いたことも。その場でやりくりする感覚が楽しいそうだ。10日間同じメンバーと行動するため、より一層仲が深まる。

団体の魅力は学年、男女を超えて仲が良く、メンバーの学類も多岐にわたるため、横のつながりも広いこと。「上級生と下級生の仲が良く、引退したOB・OGも参加しやすい雰囲気」が、このため現役以外の参加も多い。「りきこ」や「シヨン」などニックネームで親しげに呼び合う、誕生日も祝い合う。

「人生の夏休み」とも言われる大学時代。団体は学年、学類を超えた仲間と、「夏休み」を全力で謳歌している。勉強だけでなく、学生ならではの大きな本気で取り組む。そこに参加してみたい。島佳奈(人文学類)



団体のメインイベントは長期キャンプ。毎年夏休み約10日間、目的地に向かって旅行する。1日8時間電車に乗ることもあるし、何もない駅でも2時間さまよい歩いたことも。その場でやりくりする感覚が楽しいそうだ。10日間同じメンバーと行動するため、より一層仲が深まる。

団体の魅力は学年、男女を超えて仲が良く、メンバーの学類も多岐にわたるため、横のつながりも広いこと。「上級生と下級生の仲が良く、引退したOB・OGも参加しやすい雰囲気」が、このため現役以外の参加も多い。「りきこ」や「シヨン」などニックネームで親しげに呼び合う、誕生日も祝い合う。

団体の魅力は学年、男女を超えて仲が良く、メンバーの学類も多岐にわたるため、横のつながりも広いこと。「上級生と下級生の仲が良く、引退したOB・OGも参加しやすい雰囲気」が、このため現役以外の参加も多い。「りきこ」や「シヨン」などニックネームで親しげに呼び合う、誕生日も祝い合う。

団体の魅力は学年、男女を超えて仲が良く、メンバーの学類も多岐にわたるため、横のつながりも広いこと。「上級生と下級生の仲が良く、引退したOB・OGも参加しやすい雰囲気」が、このため現役以外の参加も多い。「りきこ」や「シヨン」などニックネームで親しげに呼び合う、誕生日も祝い合う。

